



たなぐら

議会だより

第135号

平成23年
6月定例会
平成23年8月15日



屋内プールでの夏

国民健康保険税率引き下げ 定例会概要 …	2
町の考えを問う 一般質問 ……………	7
7月臨時議会ほか ……………	17

6月
定例会

国民健康保険税率引き下げ



課税限度額引き上げにより 中・低所得者の負担軽減

六月定例会は、六月十五日から十七日までの三日間の会期で開かれました。

定例会では、専決処分の報告及び承認をはじめ、条例の一部改正や各会計補正予算など提出された議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

国民健康保険条例の改正を全会一致で可決し、国民健康保険税の税率が改正されました。

主な改正内容

- 1 本算定による税率・軽減額の改正。
- 2 中低所得者の負担軽減のため地方税法が改正され、国保税の課税限度額が医療費分は「五十万円」から「五十一万円」に、後期高齢者支援金分は「十三万円」から「十四万円」に、介護納付金分は「十万円」から「十二万円」に改正。

本年度の国保税の医療費分については、歳出の保険給付費の見込み額を極力抑え、歳入では前年度繰越金の全額算入により税率が引下げとなりました。

また、国保税の後期高齢者支援金分と介護分についても、保険給付費の見込額増により支払基金への納付額が増加しましたが、国保基金の一部取り崩しにより税率を引き下げました。

▶▶ 国保税率

区 分	医 療 費 分		後期高齢者支援金分		介 護 分	
	平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度
所得割額	6.04%	6.13%	2.39%	2.41%	2.05%	2.08%
資産割額	22.13%	22.86%	8.77%	9.00%	8.17%	8.49%
均等割額	22,000円	22,100円	8,700円	8,700円	10,200円	10,300円
平等割額	18,700円	19,000円	7,400円	7,500円	6,000円	6,100円
賦課限度額	510,000円	500,000円	140,000円	130,000円	120,000円	100,000円

▶▶ 年間平均保険税

区 分	医 療 費 分		後期高齢者支援金分		介 護 分	
	1人あたり	1世帯あたり	1人あたり	1世帯あたり	1人あたり	1世帯あたり
平成23年度	53,897円	106,832円	20,612円	40,856円	24,683円	33,815円
平成22年度	54,131円	108,843円	20,624円	41,466円	24,720円	34,299円
前年度比較	△234円	△2,011円	△12円	△610円	△37円	△484円

- **医療費分** ⇒ 主に医療費給付などにあてられるための保険税です。
- **後期高齢者支援金分** ⇒ 75歳以上の後期高齢者医療制度を支援するための保険税です。
- **介護分** ⇒ 被保険者の40歳～65歳未満の方に課税される保険税です。

◆ 専決処分報告 及び承認

主な内容は、地方税法等の改正に伴い、棚倉町税条例及び棚倉町国民健康保険条例の改正を行いました。

棚倉幼稚園の被災により、社川・近津両幼稚園での保育となったため、園児の送迎バス使用料を無料にする改正を行いました。

平成二十二年度一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療介護保険特別会計の補正予算については、事務事業等の確定に伴うものでした。

平成二十三年度一般会計補正予算の専決処分については、東日本大震災に伴う緊急的な事業費として、町独自の緊急貸付金制度の創設に伴う貸付金、避難者宿泊費等を計上した災害救助費などで、総額五千四百四十八万円の増額補正でした。

以上の専決処分報告がされ、全て承認しました。



◆ 棚倉町災害弔慰金の 支給に関する条例の 一部改正

東日本大震災により、住居又は家財等が相当程度の被害を受けた場合に対する災害援護資金の貸付について、国において特例措置を講じる法律改正がされました。

この改正を受け、町の災害援護資金の償還期間の延長、貸付利率の引き下げ、保証人の取り扱いなどについて改正されました。

◆ 一般会計補正予算の 主な内容

◎ 災害救助費

3,434万円

大震災による瓦等のがれき処理業務委託料や、災害援護資金貸付金です。

◎ 幼稚園改築事業費

2,430万円

被災した棚倉幼稚園を改築するための設計委託料と、現在の幼稚園の場所の地質調査をするための委託料です。

◎ 学校施設災害復旧費

3,477万円

棚倉中学校屋内運動場の床の変形改修工事及び、落石防護柵設置工事、さらには学校給食センターの建物修繕工事を行います。

◎ 林業災害復旧費

1,122万円

流岡田線の林道修繕工事を進めています。

◎ 土木施設災害復旧費

7,203万円

町道新町鉄炮町線ほか十三箇所補助復旧工事と、四十九箇所の単独復旧修繕工事を行います。

◎ 債務負担行為

2億2,000万円

(株)ネサンス棚倉の運営資金借入のため、町が損失補償を行います。



取壊しを待つ棚倉幼稚園舎



大きな被害を受けた城跡の歩道

6月補正予算の状況

(1万円未満切り捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	2億143万円	53億1,091万円	
特別会計	国民健康保険	△3,607万円	14億6,070万円
	簡易水道事業	71万円	3,958万円
	農業集落排水事業	220万円	6,615万円

(△は減額補正)

討 論

平成二十三年度棚倉町一般会計補正予算の原案をめぐり討論が行なわれ、採決の結果、賛成多数で可決されました。

反対 (1人)

鈴木 政夫 議員

今回の補正予算で、ルネサンス棚倉に対する債務負担行為として二億二千万円が計上されている。ルネサンス棚倉は現在までに三億六千万円の累積赤字を抱えており、市中銀行も保証がなければ融資することができない段階に陥っているのだと思う。

経営コンサルタントによる経営診断の提言がされたが、全く生かされていないように見え、経営理念が軟弱だと言わざるを得ない。債務負担行為は、このような管理運営によって生じた損失補償に、町民の税金を投入するものであり、認めるわけにはいかないため反対する。

賛成 (13人)

金澤 義行 議員

今回の補正予算は東日本大震災関連の緊急的な補正が主である。

また、ルネサンス棚倉の借入金に対する損失補償の債務負担行為補正については、予想しない原発事故による風評被害が主な原因であり、宿泊客のキャンセルが相次いでおり運営資金に苦慮している状況である。補償問題も進んでおらず、先が見えない状況である。今回の難局を乗り越えるためには、当面銀行からの確実な資金調達が必要であり、やむを得ないと思われるので賛成する。

可 決 締 結 契 約 負 担 請

◆ 棚倉小学校屋内運動場耐震補強改修工事

- ◎ 契約金額 七千六十六万五千元
- ◎ 契約の方法 条件付一般競争入札
- ◎ 請負者 藤田建設工業株式会社

◆ 棚倉中学校屋内運動場及び柔剣道場耐震補強改修工事

- ◎ 契約金額 一億三千六百二十九万円
- ◎ 契約の方法 条件付一般競争入札
- ◎ 請負者 藤田建設工業株式会社

国の「安全・安心な学校づくり交付金」の決定を受け、小・中学校の児童・生徒が安心して屋内の運動や、柔剣道の学習ができるよう教育施設の充実を図ります。



◆ ルネサンス棚倉テニスコート改修工事

- ◎ 契約金額 五千八百四十八万五千元
- ◎ 契約の方法 条件付一般競争入札
- ◎ 請負者 藤田建設工業株式会社

国の「地域活性化交付金」の決定を受け、以前、冬季にアイススケート場として転用していた四面と、既存のハードコート三面を砂入り人工芝コートにし、利用者の利便向上と更なる誘客につなげます。



耐震工事が行われる棚倉小学校屋内運動場

経営状況報告

町が、出資している法人・団体である、株式会社ルネサンス棚倉、財団法人棚倉町活性化協会、白河地方土地開発公社から、平成22年度における経営状況が報告されました。

なお、株式会社ルネサンス棚倉における経営状況は次のとおりとなっています。

株式会社ルネサンス棚倉 ～損益計算書・事業報告より～

■ 利用料総額

宿泊、研修室、クアハウス、プールなどの
利用料総額 **1億9,782万円**

■ 町への賃借料

レストラン・売店等 **1,149万円**

■ 町内業者からの仕入れ状況

食材の1,600万円をはじめ、
燃料費などを購入 **1億900万円**

◇ 主な実績

()内前年比

宿泊延べ人数	32,803人(3,133人減)
売上高	3億8,279万円(5,281万円減)
当期損失	2,182万円(1,648万円増)
累積赤字	3億6,611万円(2,182万円増)

意見書・要請書 提出

次の意見書及び要請書を
議会において議決し、内閣
総理大臣等関係機関に提
出しました。

■ 提出先
内閣総理大臣、福島県知事

◎ 原発事故の早急な収束
と県内全ての原発廃炉
を求める意見書

■ 提出先
東京電力(株)取締役社長

◎ 原発事故の早急な収束
と県内全ての原発廃炉
を求める要請書



緑川 朋さん(山際)



蛭田 幹枝さん(岡田)

棚倉町議会は、棚倉町
農業委員学識経験委員
に二名の女性を推薦しま
した。任期は、平成二十三
年七月二十日から三年間
です。

人事案件

福島県町村議会議長会表彰

去る六月八日の福島県町村議会議長会定期総会において、議
員として十一年以上在職している方が自治功労者として表彰
され、定例会において議長より表彰伝達式が行われました。

受賞者

松本英一議員・金澤敏男議員・渡辺義夫議員

